

AEXUS(エクサス)帳票作成ツール



AEXUS ver3.0(Advanced EXTensible Utility for Sheet form)は、元になる帳票の様式を画像として取り込んでテンプレートを作成し、そのテンプレートを使って簡単に帳票を作成することができるツールです。院内の様々な医療文書の作成を支援します。

特長

APOLO との連携で各種医療文書を簡単に作成

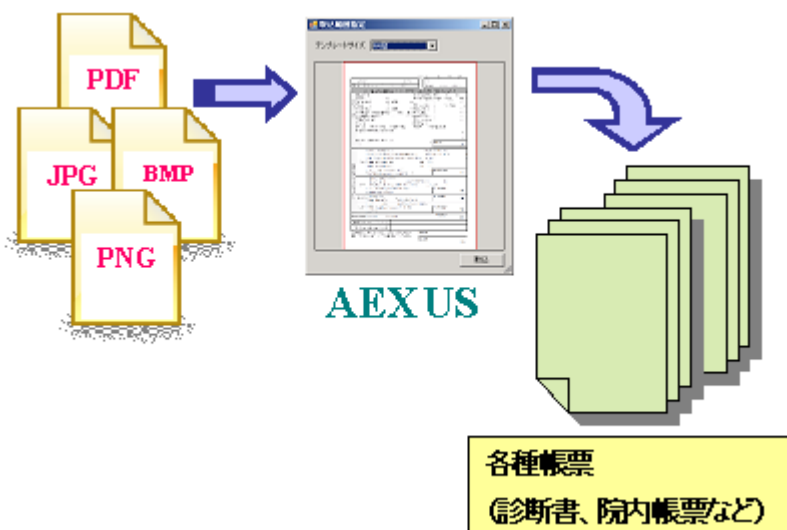
AEXUS は APOLO と連携させることにより、その効果を最大限に発揮します。WOLF(APOLO)のデータベースから必要な情報を取り出して、作成する帳票に反映させることができるからです。

例えば、患者氏名、生年月日、住所など WOLF(APOLO)に登録されていれば指定の箇所に自動記載させることができます。診断書や証明書、患者様にお渡しする院内独自のフォーマット帳票と、アイデア次第で様々な利用方法が広がります。

AEXUS の使い方は簡単 3 ステップ

- (1) 作成したい帳票の画像を用意して取り込む
- (2) 帳票のテンプレートを作成する
- (3) 帳票を作成する

AEXUSは大きく3つの操作に分けられます。(1)必要な帳票の画像を用意してAEXUSに取り込み、(2)その画像を背景として記載項目欄にテキストボックスなどを配置、入力情報やAPOLOのデータベース項目を指定してテンプレートを作成、(3)テンプレートと患者様を指定して必要項目を入力し帳票の作成、出力をおこないます。



自由な使い方をご提案

WOLF(APOLO)のデータベースにない項目は、基本フリーテキスト入力となります。しかし、中にはキーボードを使って入力するより手書きの方が早い場合もあると思います。そのような場合は、患者情報など必要な部分だけ印字させて後は手書きで作成することも可能です。PCの操作に慣れていなくても業務の効率化はできるのです。








注意事項

(1)AEXUS で作成した帳票を自治体などへ提出する場合は、作成した帳票が受領可能であるかどうかをあらかじめ提出先に確認していただく必要があります。

(2)AEXUS は CSV ファイルよりの取込による単独でのご使用もできますが、WOLF(APOLO)のデータベース情報を利用しますので APOLO がインストールされている環境でのご使用を推奨します。

マニュアル

AEXUS の機能や操作方法の詳細はマニュアルを参照ください。

-  [帳票作成ツール マニュアル](#)
-  [AEXUS ver1.1.0 追加マニュアル](#)
-  [AEXUS ver1.2.0 追加マニュアル](#)
-  [AEXUS ver3.0.0 追加マニュアル](#)
-  [AEXUS ver3.0.1 追加マニュアル](#)
-  [AEXUS ver3.0.2 追加マニュアル](#)
-  [AEXUS ver3.0.2.1 追加マニュアル](#)

AEXUS Lib (エクサスライブラリ)

AEXUS で作成したテンプレートを APOLO の文書管理で利用することができます。
各アップデートパッチを適用してください。

■APOLO 用帳票作成機能追加ソフト AEXUS Lib(エクサスライブラリ)

AEXUS Lib は APOLO 用の AEXUS 帳票作成機能追加ソフトです。

AEXUS 本体プログラムの有無に関わらずにインストールが必要です。

APOLO 用帳票作成機能追加ソフト AEXUS Lib(エクサスライブラリ)ダウンロードは[こちら](#)

※注意: zip ファイル解凍後「APOLO 用 AexusLib-400-installer.msi」を実行してください。

インストール後、APOLO の文書管理に「ユーザ定義」タブが追加されます。

動作環境

対応OS: Windows8.1 無印/Professional(32bit、64bit)

Windows10 Home/Pro(32bit、64bit)

メモリ: 4GB 以上を推奨

ハードディスク: 使用可能ディスク領域 5GB 以上を推奨

ディスプレイ: 1024x768 ドット(XGA)以上の解像度、TrueColor(32bit)

.NET バージョン: .NET Framework3.5 以上

CD/DVD-ROM ドライブ対応機種